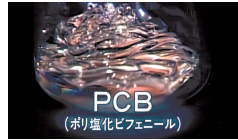


環境教育 中・高校



中学校・高校 総合
ティーンズTV地球データマップ
汚染される惑星

🕒 20分

地球規模の環境汚染を真摯にとらえ、 「環境の世紀」に貢献する力を育む

私たちは「環境の世紀」と言われる21世紀で、地球規模の環境汚染の深刻さを把握するとともに、汚染のない未来を継承するためには、どうすればよいか考え取り組む必要があります。番組から汚染の状況や、自然界にない化学物質の人体に与える影響など、人間と環境の関わりについて理解を深め、身近なところから環境への負荷を減らす取り組みを創造し、環境への意識を高めることができます。

番組活用のポイント

人間と環境の関わりを考え環境汚染のない未来を創造しよう

21世紀は「環境の世紀」と言われています。

『ティーンズTV地球データマップ 汚染される惑星』では、人々が便利で豊かな生活を追い求めた結果、様々な環境問題が世界中で深刻な問題になっている現状を克明に知ることができます。

その具体例として、チェルノブイリでの原発事故が取り上げられています。原子炉の事故により広島の500倍と言われる放射性物質がばらまかれ、農作物や家畜を通して、人体に多大な影響を与えている状況をはじめ、現在も強い放射能のため周辺地域では生活できないことなど放射能被ばくの恐ろしさをその映像から学ぶことができます。



大分県別府市立別府商業高等学校
教諭 森 浩三

化学物質をコントロールする社会を創造する

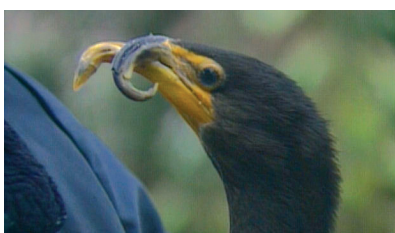
身の回りには化学物質が多く、食物から体内へ化学物質が取り込まれ人体に影響を与えている現状を理解し、社会全体で化学物質を減らすことが急務であることなど考察を深め、「科学の進歩が本当に人間を幸せにしたのか?」という環境問題の本質から、汚染のない未来を創造していきます。



便利で豊かな生活の代償

環境問題の現状調査から地球環境への意識を高める

地球環境を創造する上で、さまざまな視点から汚染の現状を調査し、収集したデータを共有する必要があります。番組のチェルノブイリの原発事故の様子から、自分たちでさまざまな環境汚染に関する学習課題を設定し調査することで、今後のあり方についてその議論を深めていきます。



化学物質が生態系に与える影響

学習展開例

(ねらい) 地球環境のために私たち一人一人にできることを考える。

環境教育

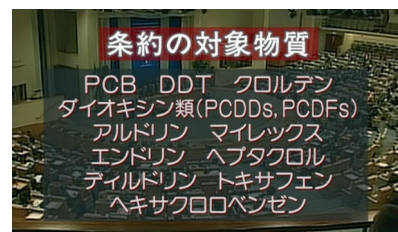
	学習活動	指導のポイントと 教員の支援
第1時	1. 番組視聴 視聴 地球データマップ「汚染される惑星」 ※番組から、何が問題なのか? 課題を発見し、ワークシートに記入する。 ※化学物質が、知らず知らずのうちに生活の中に入り込み、汚染を拡大している現状を理解する。	◎視聴により、原発事故や水俣病の被害、化学物質による汚染の現状などをワークシートに記録させる。 ※人々のくらしが地球環境に与えている影響を箇条書きで書き出させる。 例) 自動車の排ガス
第2時	2. 1の課題をクラスで意見交換し、調査課題を設定する。 ※例) 残留農薬や外国から流入する汚染大気による酸性雨、光化学スモッグなど、国境を越えた環境汚染の問題について考える。 ※設定課題によっては、再度番組の必要な場面を視聴する。 視聴	◎地球規模の環境問題(化学物質・放射能による汚染)について、その現状や課題、原因や背景、解決法や今後の在り方を考察させる。 ◎様々なメディアを活用し、できるだけ多くのデータを収集させ、多様な立場から考えさせる。 ◎化学物質をなくす、世界の取り決めと「予防原則」を理解する。 ◎化学物質のある社会でどのように生活していくか考えさせる。
第3時	3. 学習課題解決に取り組み、調査レポートを作成する。	◎他者のプレゼンテーションを聞き、相互評価させる。 ◎環境負荷軽減活動は、身近で継続的なものを心がけさせる。 ※報告集を作成させる。
	4. 調査のプレゼンテーションをする。 5. 環境への負荷を軽減する継続可能な取り組みを企画し、準備する。	
番組のメッセージ 環境保護のために私たち一人一人にできることを考えましょう。自分が汚染源にならないことが重要です。ゴミを減らしペットボトルなどリサイクルをきちんと行うことを毎日の習慣にすることが大切です。		



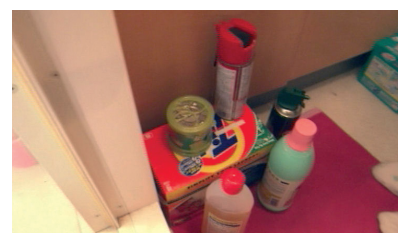
汚染されたトナカイの肉を食べる



放射能の拡散の様子



ストックホルム条約での対象物質



身近な物に入っている化学物質

より効果的に番組を活用するために

この番組では、化学物質であるPCBの汚染状況と環境ホルモンの問題についても考えることができます。『地球データマップ 滅びゆく野生生物』や『NHKスペシャル 気候大異変(2) 環境の崩壊が止まらない』と合わせて視聴することで、より広い視点から地球環境についてとらえることができ、学習をより発展させることができます。